

3 ひろしまの森づくり事業の実施状況（平成 19～22 年度）

県民全体で負担した森づくり事業は、これまで「人工林対策」、「里山林対策」、「県民意識の醸成」の3つの施策を柱として、事業が展開されている。

また、事業実施に当たっては、地域ニーズや地域主体の取組促進の観点から、各市町に設置された地域協議会での議論を経て実施されたものも多い。

以下、3つの施策ごとの事業の取組状況は次のとおりである。

(※P. 49 資料5 ひろしまの森づくり基金の状況と事業費の推移)

(1) 人工林対策（環境貢献林整備事業）【事業費：1,444,826千円・実施主体：市町】

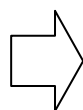
15年以上手入れがされないまま放置され、緊急に整備が必要なスギ・ヒノキの人工林に対して、間伐（間引き）や風雪被害木の伐倒整理などを行うことで、人工林の再生・健全化への取組を行った。

【人工林対策の事業実績】 (ha)

| | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 計 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 事業量 | 549.05 | 1,331.98 | 1,200.16 | 989.89 | 4,071.08 |



荒廃した人工林の整備
(整備前・広島市)



(整備後)



(2) 里山林対策【事業費：1,534,986千円(事業推進費：37,463千円を含む)・実施主体：市町】

農山村地域や都市近郊の里山林を対象として、地域のニーズや創意工夫による自由度の高い整備の実施や、地域の自主的活動への支援、森林・林業への理解促進を図る取組などを行った。

① 里山林整備事業【事業費：1,028,451千円】

| 事業内容 | 実績等 |
|---|-------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 手入れがされず放置された森林の保全(除間伐, 植栽 等) ○ 松くい虫被害跡地における里山の景観等の保全(枯損木処理 等) ○ 拡大する竹林に対して, 発生源対策や森林の復旧(伐採, 集積 等) ○ 自然を体験できる身近な里山林について, 景観及び野生生物環境保全や利用促進(除間伐, 補植, 歩道整備 等) ○ 有害鳥獣被害地域において, 里山林の除伐等によるバッファゾーンの整備 | 実施市町数：23 事業量：1,551ha |

※「実施市町数」は、実施年数(単年・複数年)に関わらず「1」団体として計上 (以下同じ。)



集落周辺で放置された里山林の整備
(整備前・廿日市市)



(整備後)

② 里山保全活動支援事業【事業費：66,343千円】

| 事業内容 | 実績等 |
|---|----------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民団体や森林ボランティア団体が自ら企画・立案し, 主体的に整備を行う取組への支援(下刈, 歩道の整備等) | 実施市町数：16 事業量：186件 |



市民, 森林ボランティア団体の協働による下刈整備の様子(広島市)



市民, 森林ボランティア団体の協働による歩道整備の様子(東広島市)

③ 森林・林業体験活動支援事業【事業費：61,635千円】

| 事業内容 | 実績等 |
|-------------------------|----------------------|
| ○ 森林・林業に関する体験型活動，学習会の開催 | 実施市町数：17 事業量：124件 |



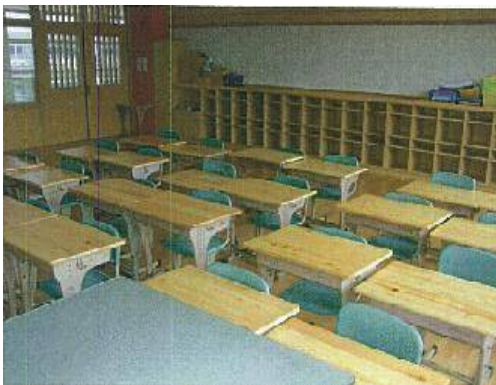
小学生を対象とした現地体験型の学習会開催の様子(安芸太田町)



小学生を対象とした森林・林業体験活動実施の様子(尾道市)

④ 間伐材利用対策事業【事業費：200,400千円】

| 事業内容 | 実績等 |
|---|----------|
| ○ 地域の間伐材を利用した学校用机天板の導入 ○ 公共施設への地域の間伐材を活用した木製ベンチ等の設置 ○ 木質バイオマスの普及支援（ペレットストーブの設置） | 実施市町数：18 |



学校用机天板の間伐材の導入
(大竹市)



公共施設への木製ベンチ等の設置
(三次市・みよしきんさいスタジアム)

⑤ 環境緑化支援事業【事業費：7,231千円】

| 事業内容 | 実績等 |
|--|--------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共施設や公的空間における敷地緑化等への助成 ○ 地域住民が協働で行う緑化活動への支援 | 実施市町数：5 事業量：24件 |



地域住民による緑化活動の様子
(大崎上島町)



森林ボランティアによる植樹活動の様子
(安芸太田町)

⑥ 特認事業【事業費：133,463千円】

| 事業内容 | 実績等 |
|---|---------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 都市と農村が連携して森林・林業活動を行う場合や、既定予算枠を超えて③、④の事業を実施する場合など、特に必要と認められる事業について支援 | 実施市町数：14 事業量：31件 |



間伐材を利用した東屋の整備
(大崎上島町)

県産間伐材を利用した東屋を小学校へ整備することにより、児童が森林の重要性などを学習する場としての活用及び意識啓発を図った。



松くい虫被害跡地への植林活動の様子
(福山市)

地域住民が主体となり、森林ボランティア団体等の協働による松くい虫被害跡地の植林活動を行い、市民参加型の森づくりを推進した。

(3) 県民意識の醸成【事業費：132,000千円・実施主体：県】

森林に対する理解の促進を図り、多様な主体による県民参加の森づくりを推進・発展させるため、関係団体・企業・ボランティア団体等と連携した啓発・広報等を行った。

① 「ひろしまの森林づくりフォーラム」による啓発活動【事業費：42,000千円】

企業・関係団体等で構成する「ひろしまの森林づくりフォーラム」を中心に、会員（企業等）の連携・協力の下で、シンポジウムの開催、イベント・各種広報媒体での広報活動・情報発信、森林ジュニアインストラクターの育成などを行った。



シンポジウムの開催



カープファン感謝デーでの広報活動



テレビコマーシャルによる広報活動
「ひろしまけんインターネットチャンネル」で公開中
(<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kouhou/nettv/4ch.php>)



小学生を対象とした森林ジュニアインストラクターの育成（H21年度～）

② 県産材普及対策【事業費：90,000千円】（平成22年度～）

間伐材等の県産材の利用促進を図るため、県産材を使用した住宅の新築又は購入に対して、定額助成を行った。

【事業実績】

225戸（平成22年度）



県産材を利用した住宅の建築